

注文を受けて描く！

イラストレーターになりきろう！

イラストレーターとしてお客さんから注文をもらうために、まず何が必要でしょうか？
また、注文を受けたあとにすべきことは何でしょうか？今回はイラストレーターになりきって、仕事をもらい、作品を完成させるまでのながれを体験します。
実際にお仕事をもらった気持ちで、楽しく取り組んでみましょう。

【今月の課題】

- STEP1 イラストカタログを作ろう
- STEP2 注文をもとにアイデアをまとめよう
- STEP3 ラフを描いてチェックしてもらおう
- STEP4 注文をもとにイラストを描こう



著作権（ちよさくけん）を守ろう！



著作権法（ちよさくけんほう）という、
作品の作者を守るための法律（ほうりつ）があります。

「漫画」「アニメ」「小説」などの、“だれかがすでに作ったキャラクターや世界観をもとにして描いたイラスト”は、勝手に発表することができません。

また、だれかの絵の「トレース（なぞりがき）」や「模写（真似して描くこと）」を「自分で描きました」と発表してしまうと、著作権の侵害になることがあります。

実際に、賞をとった絵や漫画が、だれかの作品の真似だったことから
トラブルになったこともあるよ。
なぜ他の人の真似をして発表することがいけないのかな？
一緒に考えてみよう。



童話や昔話などの古い作品は、
モチーフに使えることがあるので、
先生に確認してね。



イラストレーターとは？

イラストレーターとは、誰かの頭のなかにあるイメージを、イラストにする仕事です。

ものがたりの表紙や挿絵（さしえ）、チラシやポスター、キャラクターデザインなど、様々な仕事を受けています。

街（まち）で見かけるポスターや商品に絵が描かれていたら、それはイラストレーターの仕事かもしれません。

アタムアカデミーのカリキュラムのイラストなども、イラストレーターがお仕事として描いていますよ。



イラストレーターのお仕事のながれ



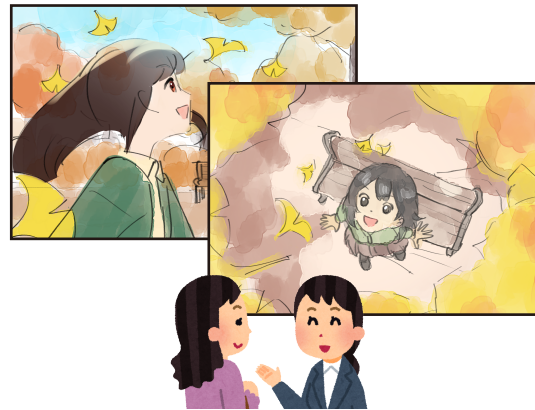
イラストレーターは、お客さんから注文を受けることで仕事が始まります。
注文を受けたあとはこんなふうに仕事をしています。

チラシに使う絵を描いてください。
女の子と秋の絵がいいです。

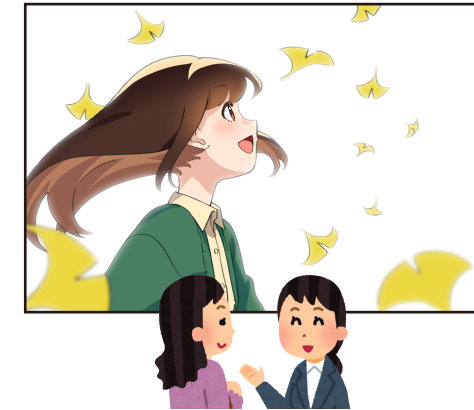


絵のサイズはどうしますか？
女の子の年はいくつですか？
服やポーズはどんなイメージですか？
いれてほしいモチーフはありますか？

1 注文をもらう
⇒注文内容をくわしく聞く



2 ラフを見てもらう
⇒OK がでたら描きすすめる



3 完成した絵を見てもらう
⇒OK がでたら提出（納品）

いつもの
お絵描きと
どうちがう？



イラストレーターは、自分が納得する絵ではなく、**お客さんが満足する絵を描くために、たくさんのコミュニケーションをとって、絵を完成させていきます。**ラフや絵を描いていくなかで「もっとこうしてほしい！」と言われれば希望をくわしく聞いて、アイデアの提案（ていあん）や、絵の修正（しゅうせい）をしていきます。

STEP1 イラストカタログを作ろう！

今回は、クラスのお友達や先生とおたがいにイラストの注文をしてもらいます。
みんなが注文しやすいように、自分の描けるものや得意なイラストをまとめた
「イラストカタログ」をつくっていきます。

《イラストカタログの例》

	①	②	③	④	⑤
時代 季節 時間	2024年秋 午前11時	夏・夜	明治時代 春	夕方6時	朝の4時
天気	お菓子のあめが 降っている	晴れ	かみなり	雪	夏の入道雲
場所	雲の上	にじの上	公園	宇宙	学校の教室
登場人物 (キャラクター)	まほう使い	ねこ・ネズミ	ようせい	小学生の 女の子	宇宙人
その他の アイテム	まほうのつえ	桜の木	自転車	いちごの ショートケーキ	イチョウ



どんな注文がくるかわクワクワ
するね！

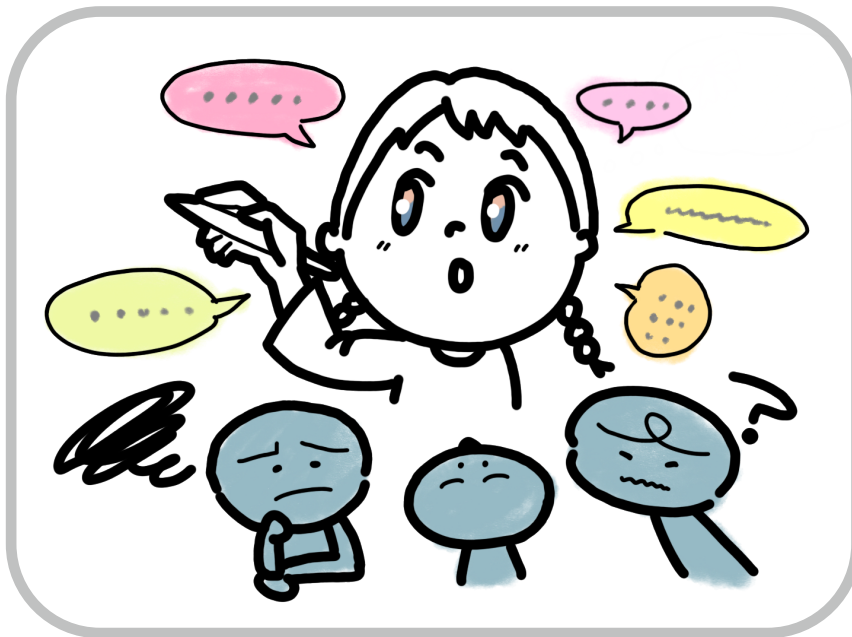
お友達や先生をお客さんに見
立てて、イラストレーターと
してお客さんの注文をかなえ
られるようなイラストを描け
るようにがんばろう！



イラストカタログの発表をして注文をもらおう！

イラストカタログが完成したら、先生や友達にむけて発表してみましょう。
イラストカタログを見せながら、「これを描くことが得意です！」と自信をもって発表し、お仕事をもらいましょう。

★「自分の得意なこと」を、なぜ発表する必要があるのでしょうか？



得意なことが伝わらないと、お客さんが
どう注文していいか迷ってしまいますね。



得意なことを文字や絵でまとめて
発表すると、分かりやすいです！

STEP2 注文をもとにアイデアをまとめよう！

お客さん（先生・友達）から受け取った注文をもとに、アイデアをまとめてみましょう。
まずは注文内容をしっかりチェックして、イメージをふくらませ、わからないところは注文者に「ヒアリング」してメモをとっていきます。

時代 季節 時間	① 2024年秋 午前11時
天気	② 晴れ
場所	③ 公園
登場人物 (キャラクター)	④ 小学生の 女の子
その他の アイテム	⑤ イチョウ

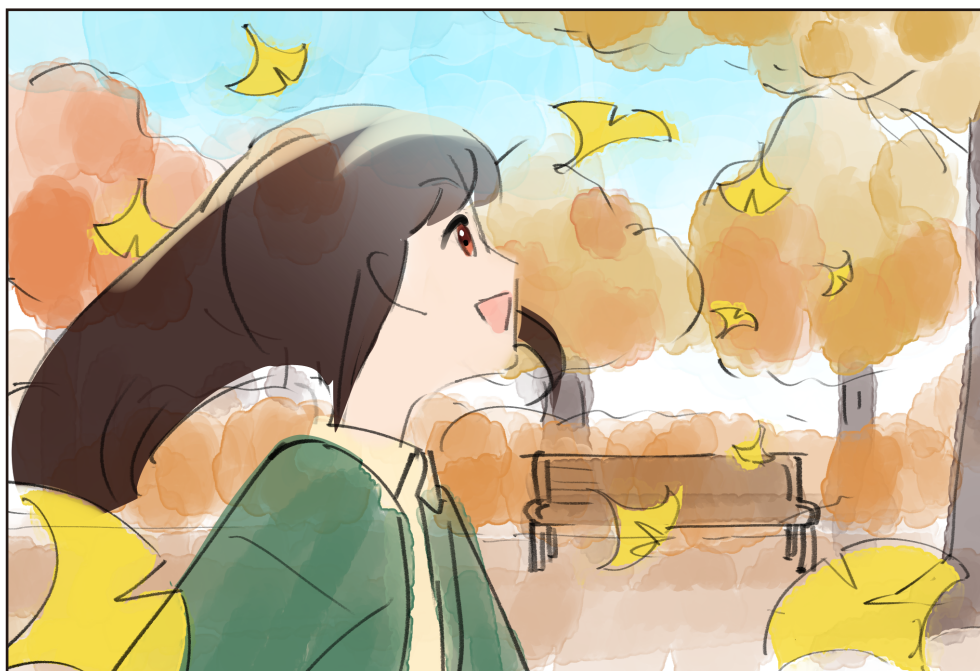
話を聞いて情報収集（じょうほうしゅうしゅう）することを「ヒアリング」といいます。お客さん（先生・友達）が考えていることを理解してイラストに反映（はんえい）できるように、注文内容からイメージできなかったり、わからないことがあれば質問しましょう。

話を聞いているうちに、お客さんのやりたいことがよく分かり、お客さんのイメージ通りのイラストを描くことができます。



STEP3 ラフを描いてチェックしてもらおう！

アイデアをまとめることができたなら、アイデアをもとにラフを2種類描いてみましょう。

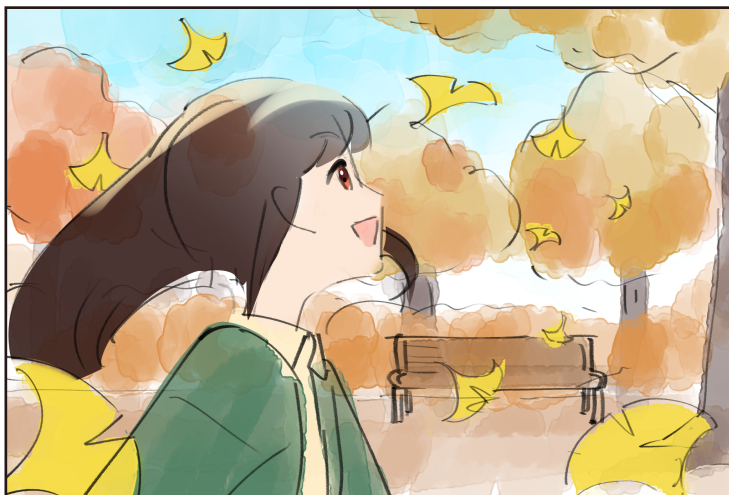


実際の仕事でも、お客さんのイメージ通りのイラストに近づけるために、いくつかのラフを提案（ていあん）します。大まかなポーズや背景を描き、かんたんに色塗りをしておき、お客さんにイラストの雰囲気が伝わるようにするための見本にします。メインのモチーフや、全体の雰囲気が伝わればOKです。細かく描き込みすぎたり、時間をかけすぎたりしないように注意しましょう。



ラフと一緒に自分の考えも発表しよう

お客さんがどちらにしようか悩んでしまっただけなので、ラフを選んでもらうときには「決め手」になるような言葉を考えておきましょう。



こっちのイラストは落ち葉が舞い散っていて、おしゃれな感じかも！

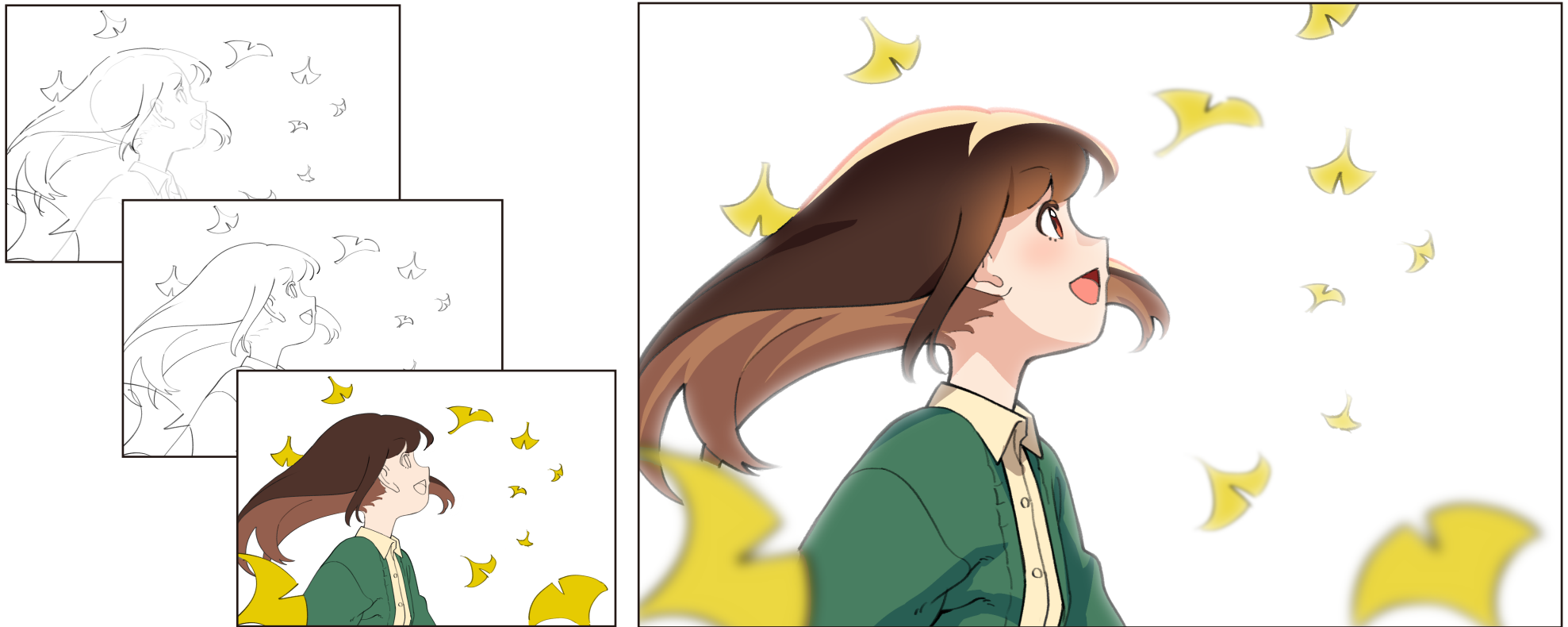


こっちのイラストはいちょうを描く面積（めんせき）が広いから、秋らしさがよく伝わるよ。

お客さんが悩んでいるときは「このイラストはこんな雰囲気（ふんいき）になるよ」と伝えて、お客さんの背中を押してあげましょう。イラストレーターのお考えを聞くことで、お客さんが納得を感じてくれることもあります。

STEP4 注文をもとにイラストを描こう！

ラフのOKがもらえたら、イラストを完成させます。注文内容やヒアリングしたことをもとに、すてきなイラストになるように仕上げていきましょう！





イラスト制作の基本の流れ ①下書き

おおまかに描いたラフとは違い、下書きは、その後の線画をきれいに描けるように、服装（ふくそう）や髪型（かみがた）など、なるべく細かく決めて描いて行きます。



秋晴れ・まい落ちるイチョウをみて、笑顔になっている様子

「2024年」に合う
現代的な髪型・ファッション

季節を演出（えんしゅつ）するイチョウの葉。
背景の公園は、お客さんと話し合って、描かない方がいいということに。

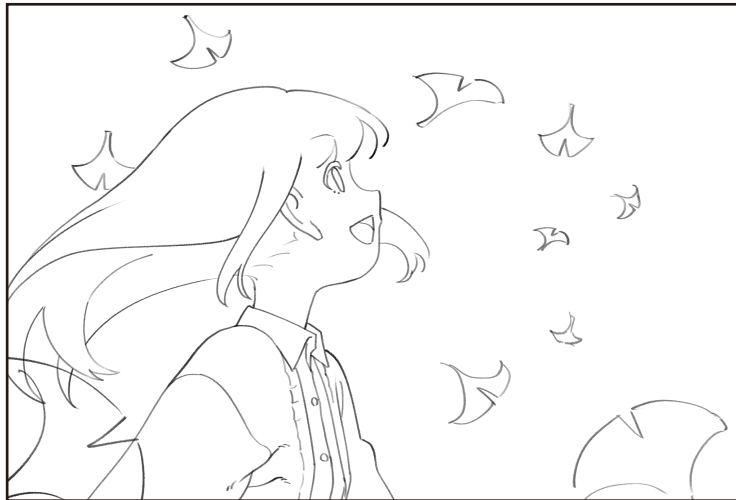
作例) 今回の注文のキーワードは「2024年11月」「晴れ」「公園」「小学生の女の子」「イチョウ」です。

キーワードやその他に聞き取ったお客さんの希望を忘れずに描き込んでいきましょう。



イラスト制作の基本の流れ ②線画

線をきれいに整えます。色塗りのしやすさを考えると線をつなげておいた方がいいですが、自分のイラストのタッチに合うと思う線画でかまいません。



多くのイラストレーターは、お客さんから修正が入ったときに対処（たいしょ）しやすいように、パーツのレイヤーを分けておきます。ここでは最低限キャラクターとイチョウの葉のレイヤーは別にします。



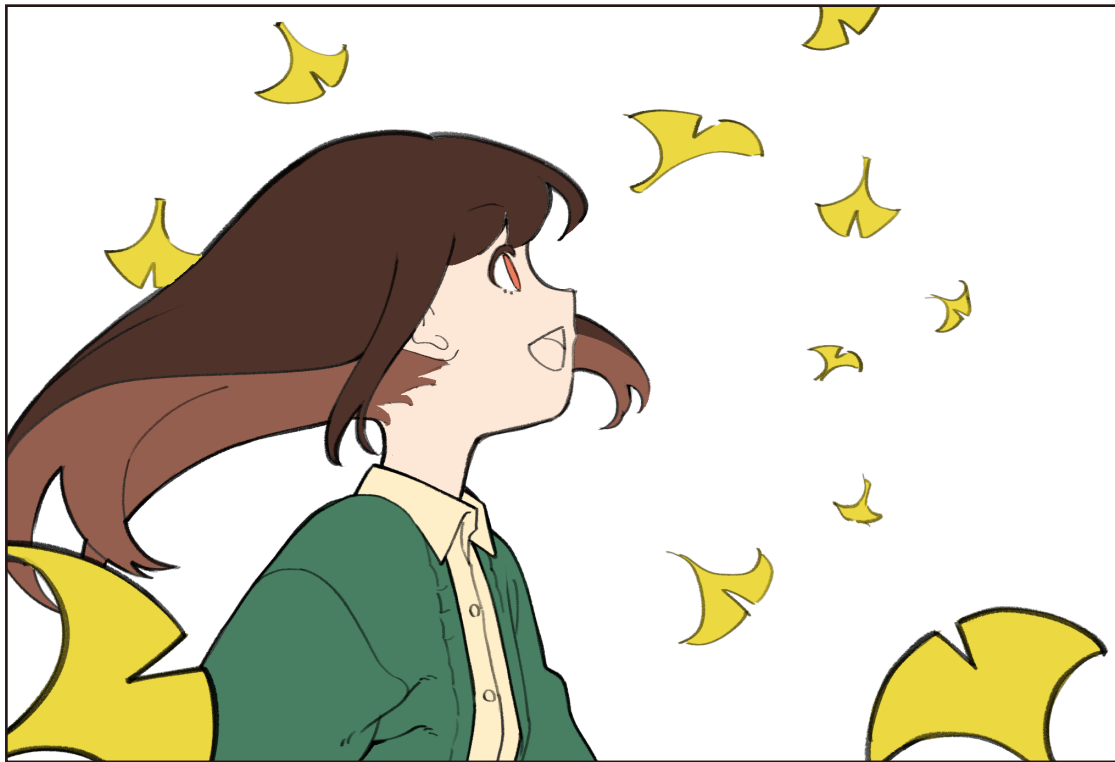
線の強弱を意識しましょう。
作例のイラストレーターが
線画の細い部分、太い部分をつ
くっているのはなぜ？
考えてみましょう。

レイヤーを分けているので、
奥にある服の線まで
描いてしまいます。

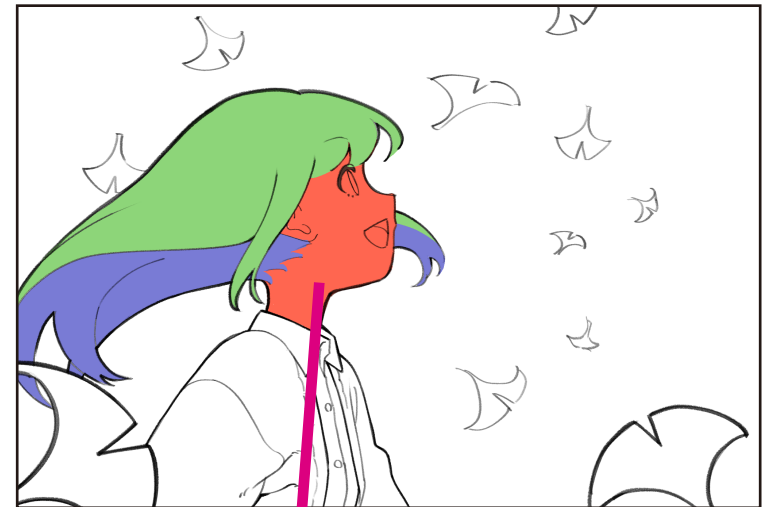


イラスト制作の基本の流れ ③色置き

ラフの色を参考にして、色置きをします。ここでも後から修正しやすいように、髪・肌・服などレイヤーを分けて色を塗りつぶしていきます。



色使いは必ずラフの通りにしなくても問題ありませんが、**お客さんに提出したラフの色味から自分の判断（はんだん）で変更するときは、どうして色を変えたかを説明できるようにしておきましょう。**

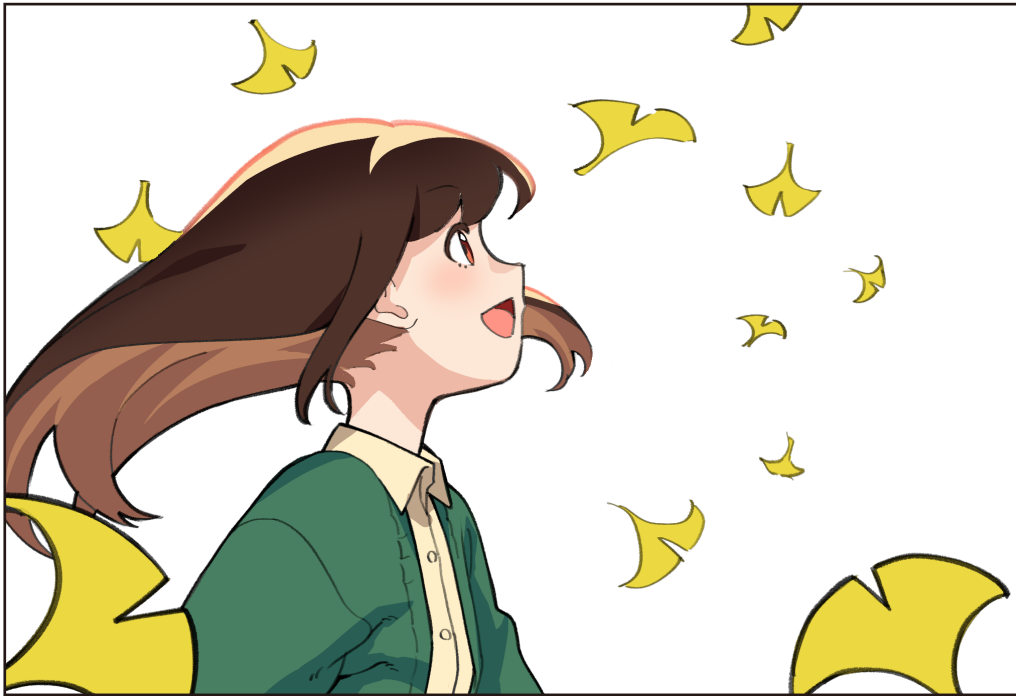


色がきれいに塗れているかわからないときは上のイラストのように「強い色」でまず塗りつぶしてみましょう。
この塗り方をするときには、最後に色を変えわすれないように注意！

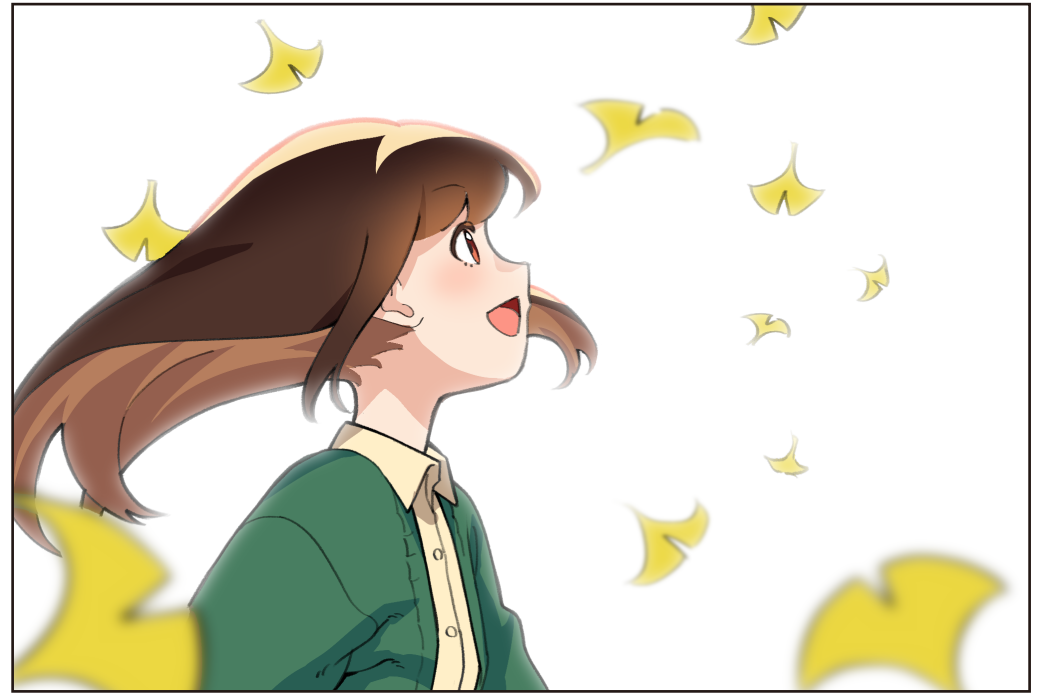


イラスト制作の基本の流れ ④仕上げ

仕上げができたらいよいよ提出です！お客さんに喜んでもらえることをイメージしながらイラストを仕上げていきましょう。



肌の赤みや、光や影（かげ）の色を入れます。
ここで下の色味が物足りないと感じたら、色の明るさや鮮やかさを調整（ちょうせい）していきます。



さいごにイチョウの葉をぼかしたりして、イチョウの浮遊感（ふゆうかん）や、画面の奥行きをだしていきます。左と比べて光の表現も少し強くしました。テクニックをマネしてみたいときは、先生にきいてみましょう。



完成したイラストを見て感想を言い合おう



自分では思いつかない
組み合わせで
注文をもらって
新しい発見があった！

友達と相談しながら
アイデアをまとめる
のが楽しかった♪



イラストが完成したら、お客さん（先生・友達）に見せて、感想を言い合
いましょう。そこまでできたら、今回の課題は完了です！
イラストレーターになりきる体験、いかがでしたか？
今回の課題で発見したことを、今後の作品にも活かしていきましょうね。

イラストカタログ

なまえ：

	①	②	③	④	⑤
時代 季節 時間					
天気					
場所					
登場人物 (キャラクター)					
その他の アイテム					

注文シート

イラストレーター

さんへ

注文者

より



注文内容

時代・季節・時間	
天気	
場所	
登場人物 (キャラクター)	
その他の アイテム	

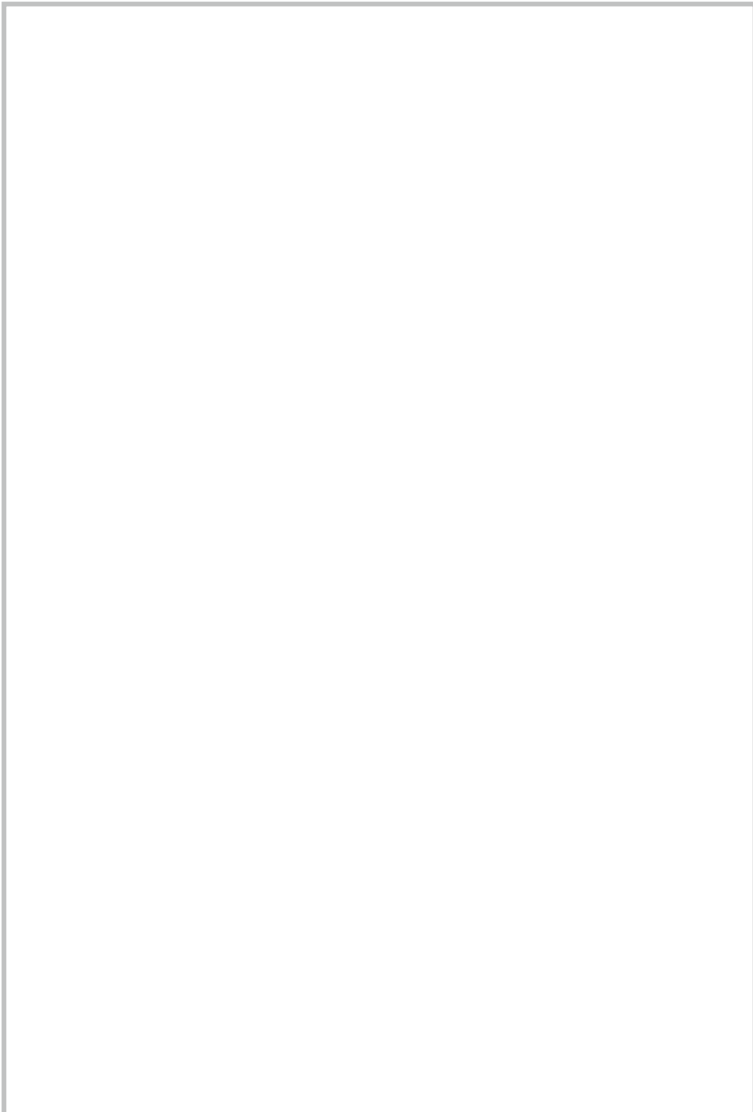
どんなイメージにしてほしい？

そのほかお願いしたいこと

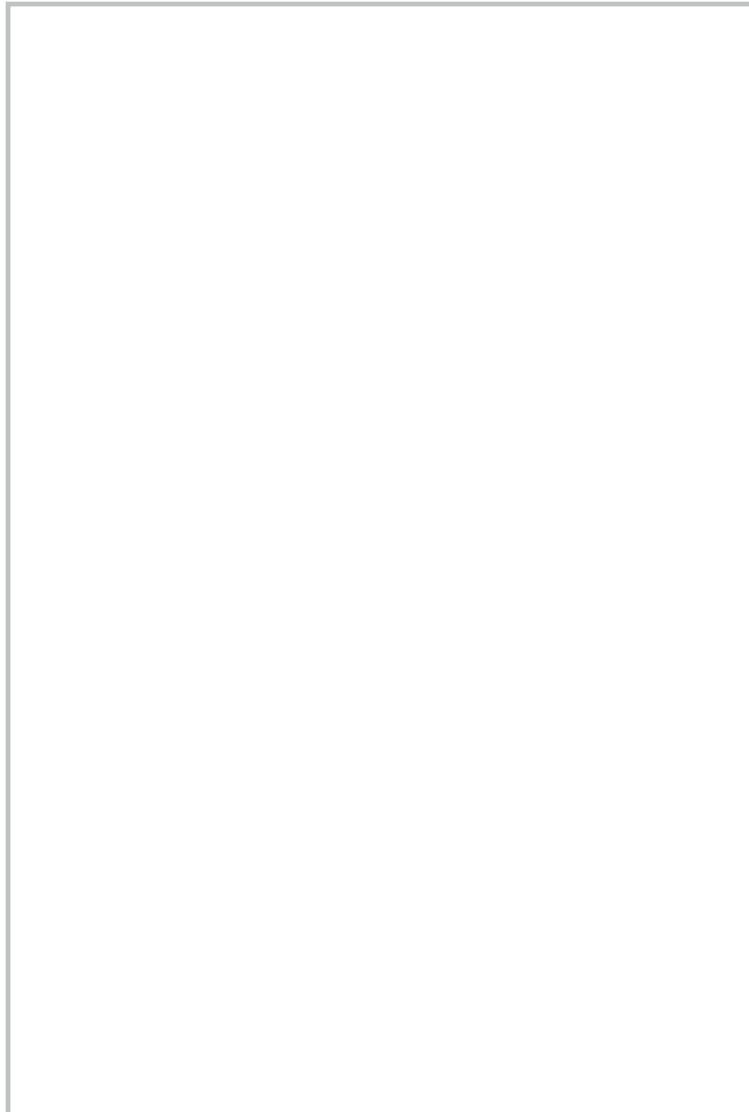
イラストレーターメモ欄 (注文者からヒアリングしたことをメモ)

ラフシート（タテ）

ラフ1



ラフ2



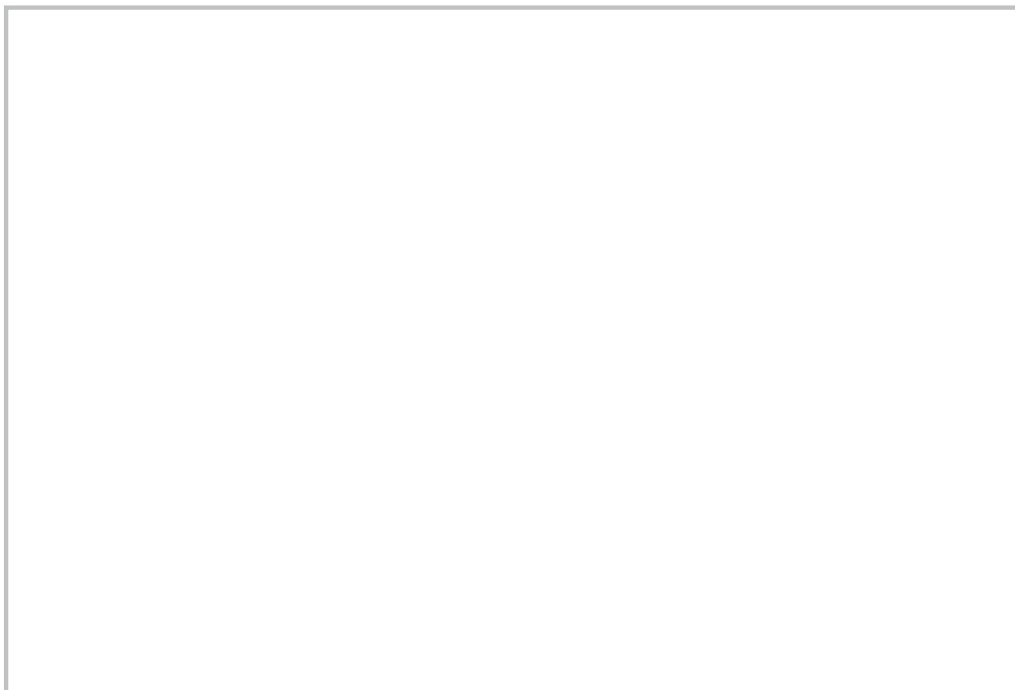
ヒアリング内容メモ欄



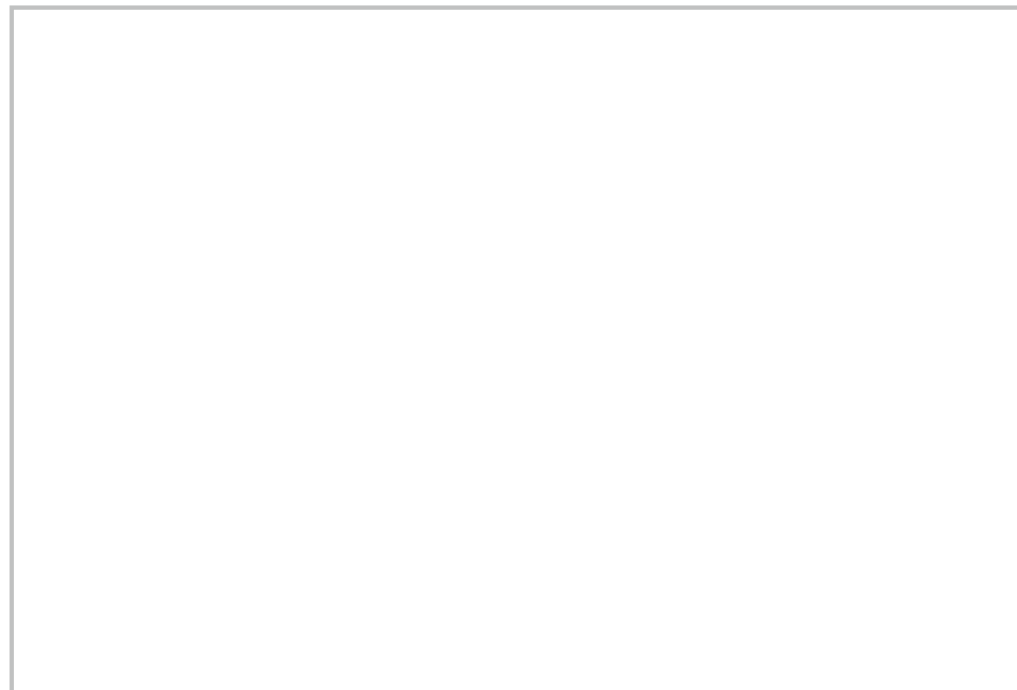
今回本番は通常はがきの
サイズで描いてみましょう！
縦向きで描きたい場合、
縦 2039 px・横 1378 px で
キャンバスを作ってください。

ラフシート (ヨコ)

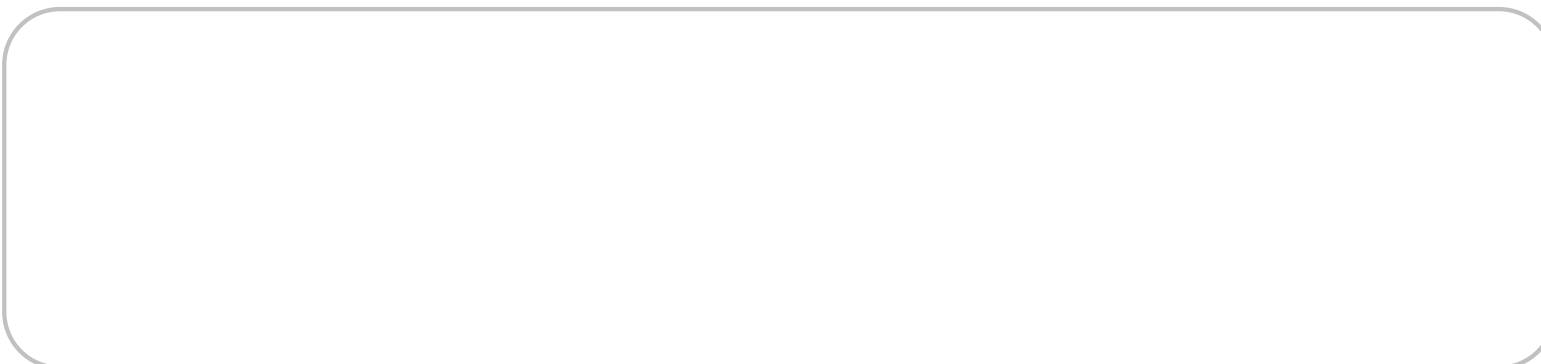
ラフ1



ラフ2



ヒアリング内容メモ欄



今回本番は通常はがきの
サイズで描いてみましょう！
横向きで描きたい場合、
縦 1378 px・横 2039 px で
キャンバスを作ってください。